

(1)



本校では「主体的な学び」や「確かな学力」を研究主題に据え、全員が研究授業を行つて意見交流を行い、授業改善につなげています。授業のねらいや「何を学んだか」等の表示を全校で統一し、授業づくりに取り組んでいます。(旭川市立永山南中学校)

No.135 (令和2年7月1日)

## おもな内容

随想	1
研修講座寸描	2
研究室だより	3
研究協力校の紹介	4
教育講演会の紹介	5
受講後調査の結果	6
心に残る授業その81	7
人事短信(研修センター所員紹介)	8

ページ



上川教育研修センター

所長 福家

尚

## 抱負と決意をもって出発

随想

我が家には数千冊の本「積読」状態も多いがありますが、中でも多いのは文庫本です。コンパクトでポケットに入り、いつでもどこでも読むことができます。文庫本は大変重宝します。ところで、様々な出版社から刊行されている文庫本には、発刊の辞を載せているものが多くあります。中でも一九四九年、角川書店の創設者である角川源義が書いた「角川文庫発刊に際して」が有名です。

この冒頭は次のとおりです。「第二次世界大戦の敗北は、軍事力の敗北であった以上に、私たちの若い文化力の敗退であった。私たちの文化が戦争に対して如何に無力であり、单なるあだ花に過ぎなかつたかを、私たちは身を以て体験し痛感した。」この文章はかつて全ての角川文庫の巻末に掲げられていて、どなたも記憶にあります。序文で祖國の敗戦にふれ重く始まる発刊の辞ですが、後に続く格調高いメッセージから筆者の熱い思いが伝わり、「名文中の名文」と評されています。

さて、この文章では「敗退」という表現をしていますが、これは対戦国に敗退したとは読みません。一文化人として戦争遂行を許してしまったことを敗北・敗退と受け止め、自分たちの力が及ばないことを悔っています。つまり、戦争を乗り越え、かつての日常の平和な世界を取り戻していくなければなりません。

今、私たちはそれぞれの仕事や立場において、再建の決意と抱負をもち、歩んでもいいべきです。発刊の辞の「文化力」微力をも顧みず再建の礎石たるべき抱負と決意とももつて出発」ともあります。

道路の雪が解け、屋外での活動が始まろうとする4月中旬、全校児童を対象として、交通安全部室を実施しました。まだ、肌寒い風が吹く中ではありますがあまり運転や歩行時の注意点を学んでいました。自転車はコロナウイルス感染防止対策で、学校行事も縮減していきました。

この運転や歩行時の注意点を学んでいた。子供たちは真剣な表情が吹く中で、学校行事も縮減していきました。機会と捉え、よりよい形を模索しつつ、子供たちは保護していきたいです。

(上川町立上川小学校)



## セントラル日誌

4月1日

新任所員就任  
研修講座講師委嘱状交付式(中止)

4月9日

講座内容研究協議会(分散開催)

4月23日

パソコン講座運営委員会議

(紙面交流)

5月・6月研修講座中止

その冒頭は次のとおりです。「第二次世界大戦の敗北は、軍事力の敗北であった以上に、私たちの若い文化力の敗退であった。私たちの文化が戦争に対して如何に無力であり、单なるあだ花に過ぎなかつたかを、私たちは身を以て体験し痛感した。」この文章はかつて全ての角川文庫の巻末に掲げられていて、どなたも記憶にあります。序文で祖國の敗戦にふれ重く始まる発刊の辞ですが、後に続く格調高いメッセージから筆者の熱い思いが伝わり、「名文中の名文」と評されています。

さて、この文章では「敗退」という表現をしていますが、これは対戦国に敗退したとは読みません。一文化人として戦争遂行を許してしまったことを敗北・敗退と受け止め、自分たちの力が及ばないことを悔っています。つまり、戦争を乗り越え、かつての日常の平和な世界を取り戻していくなければなりません。

今、私たちはそれぞれの仕事や立場において、再建の決意と抱負をもち、歩んでもいいべきです。発刊の辞の「文化力」微力をも顧みず再建の礎石たるべき抱負と決意とももつて出発」ともあります。

道路の雪が解け、屋外での活動が始まろうとする4月中旬、全校児童を対象として、交通安全部室を実施しました。まだ、肌寒い風が吹く中ではありますがあまり運転や歩行時の注意点を学んでいた。子供たちは真剣な表情が吹く中で、学校行事も縮減していきました。

この運転や歩行時の注意点を学んでいた。子供たちは真剬な表情が吹く中で、学校行事も縮減していきました。

※※ 7月1日  
毎週火曜日 随時

研修講座講師打合せ会議  
センターダより第135号発行

(生徒指導①)(特別支援教育①②)  
(書写指導(実技)(読書活動)  
(学校経営I)(保健安全指導)  
(校務のための表計算入門①)(ミニ道研A)  
(校務のための表計算個別課題解決①)  
(校務のための表計算活用①)  
(ICTを活用した働き方改革講座①)

四月九日、三十四講座の講師九十一名にお集まりいただき、今年度の研修講座の講師委嘱状交付式及び研修講座内容研究協議会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「分散開催」となりました。

それぞれの会場では、教職員等の資質・能力の総合的な向上を目指して、各講座の講師が意見を出し合い、講座の内容や日程等について話し合いました。

残念ながら、五・六月に開催予定だった講座が中止となってしましました。七月以降の講座については、感染予防対策を徹底して開催することができるように準備を進めております。詳しくは、各市町村へのEメールや当センターWebページでお知らしてまいりますので御確認ください。皆様の受講をお待ちしております。



## 研修講座寸描

## 研修講座内容研究協議会 (分散開催)

研修講座内容研究協議会（分散開催）の様子

### ホットな夏、ホットな研修を！

クーラーの効いた当センター会場で研修を深めませんか？

受講を希望される場合は研修センターのFAX（24-2512）にお申込みください。

※7月27日(月)～8月6日(木)の講座につきましては、すべて午後日程(半日)とさせていただきます。

開催期日	研修講座名	会 場	備 考
7月27日(月)	ICTを活用した働き方改革講座②	研修センター	中止させていただきます
7月27日(月)	授業のためのプログラミング入門①	研修センター	ICT実技研修講座
7月28日(火)	校務のための表計算入門②	研修センター	午前→午後日程に変更させていただきます
7月28日(火)	国語科指導①	研修センター	2日目 9月2日(水)
7月28日(火)	生活科・総合的な学習の時間①	研修センター	2日目 9月8日(火)
7月29日(水)	理科指導①	研修センター	2日目 10月1日(木)
7月29日(水)	幼保小連携教育	研修センター	
7月30日(木)	道徳科指導①	研修センター	2日目 9月25日(金)
7月31日(金)	算数・数学科指導①	研修センター	2日目 10月1日(木)
8月3日(月)	外国語(英語)指導①	研修センター	2日目 10月8日(木)
8月3日(月)	学校事務実務	研修センター	
8月5日(水)	学校で役立つタブレットPC入門①	研修センター	中止させていただきます
8月5日(水)	授業で役立つタブレットPC活用①	研修センター	ICT実技研修講座
8月5日(水)	教育相談(いじめ・不登校等)	研修センター	
8月6日(木)	社会科指導①	研修センター	2日目 10月9日(金)
8月6日(木)	学校力向上対策	研修センター	

### ～夏季休業終了直後に開催予定の研修講座～

9月1日(火)	学校・家庭・地域の連携	研修センター	
9月2日(水)	国語科指導②	比布・中央小／神楽中	
9月8日(火)	生活科・総合的な学習の時間②	西御料地小／桜岡中	

## 上川教育研修センター 第18次研究1年目スタート

本年度より、上川教育研修センター第18次研究1年目がスタートしました。第17次研究での成果と課題を踏まえ、今年度からは、「主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導の在り方～求められる資質と能力を育む指導と評価～」を研究主題として設定しました。

今年度も皆様から多くの御意見をいただきながら研究を進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 研究 主 題

#### 主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導の在り方

～求められる資質と能力を育む指導と評価～

### 求める児童生徒像

各教科等において生きて働く「知識・技能」を習得し、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を高めながら、「主体的に学習に取り組む態度」を身に付けた児童生徒。

### 研究の仮説

目標と手立てが合致した単元の指導計画及び具体的な児童生徒の姿を設定するとともに、主体的・対話的で深い学びとなる指導計画や観点別の学習状況について評価する時期や場面の精選、更には評価方法の工夫をすることにより、教師の指導改善、児童生徒の学習改善へつなぐことができるであろう。

### 研究 内 容

#### 指導と評価の一体化

##### (1) 単元目標の明確化

- ・指導事項
- ・実態と他単元との関係

##### (2) 単元評価規準の設定

- ・単元構成の工夫
- ・学習課題の工夫

##### (3) 指導計画・評価計画

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| ・一単位時間における評価規準 | ・指導に生かす評価・記録に残す評価 |
| ・評価時期・評価材料     | ・手立て              |
| ・見通しと振り返り      | ・対話の目的と手立て        |

##### (4) 観点ごとの総括

- ・見取り方
- ・判断

### 学びの基盤

#### 支持的風土の醸成

#### 教室環境の整備

#### 学習規律の確立

### 研究室会議の様子



山中謙司准教授（教育大）と研究員 研修センターにて

# 令和2年度「研究協力校の紹介」

## 旭川市立向陵小学校



**一 学校概要**  
本校は、旭川市西部に位置し、JR旭川駅から四・五kmにある中規模校です。校下は、閑静な住宅街で、近隣には北星中学校、旭川聾学校、住吉子ども園、旭川天使幼稚園のほか、教育大、学や附属幼・小・中にも隣接していて、学園都市的な面持ちがあります。医療機関や商業施設も揃い、生活しやすく落ち着いた住環境があります。

平成四年に情緒障害学級を開設して以降、古くから特別支援教育にも取り組んでいます。今年で開校六十八周年目を迎え、隣接する北星中学校との小中連携を進めながら、義務教育九年間で目指す児童生徒の資質・能力の育成に取り組んでいます。

**二 教育目標**

- 「よく考え 創り出す子」かしこく【学力】
- 「やさしく 思いやる子」やさしく【心力】
- 「たましく がんばる子」たましく【体力】

**三 年度の重点**

- 「自分で考え もとによりよく生きようとする  
子どもの育成
- 「自分が好き みんなが好き」



**一 学校概要**  
上川中学校は、大雪山連峰の自然を背景に、北海道第一の河川、石狩川の清流に恵まれた豊かな自然が広がる上川町に位置しています。中学校では、学校改善プラン『上中八策』のもと、小中連携による九年間のスマーズな義務教育の実践、上川高校との連携型中高一貫教育、中大連携をふんだんにしたキャリア教育の充実を軸とした、上川中学校ならではの特色ある教育活動に取り組んでいます。

令和二年度は、一年生十五名、二年生十九名、三年生二十四名の合計五十八名の生徒一人ひとりの学力・体力の向上、そして豊かな人間性の育成に努めます。

**二 教育目標**

- 自ら学び 心豊かに たくましく生きる人

**三 年度の重点**

- 自分で考え、判断し、行動できる主体的な生徒の育成

## 昨年度のセンター研究発表会の様子

令和2年2月4日（火）当麻小



上川教育研修センター

# 教育講演会

とき

令和2年11月2日(月) 14:00~16:30

(開場: 13:30, 講演開始: 14:00)

ところ

上川教育研修センター 講堂

(旭川市6条通4丁目)

## 演題

「『資質・能力』を育成する  
パフォーマンス評価」

## 講師

京都大学 大学院教育学研究科

教授 西岡 加名恵 氏



## 【講師紹介】

京都大学大学院教育学研究科教授

日本教育方法学会常任理事、日本カリキュラム学会理事、文部科学省「育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方に関する検討会」委員など

## 主な著書

「教科と総合学習のカリキュラム設計」(単著、図書文化、2016年)

「『資質・能力』を育てるパフォーマンス評価」(編著、明治図書、2016年)

「教科の「深い学び」を実現するパフォーマンス評価」(共編著、日本標準、2019年)

「新しい教育評価入門」(共編著、有斐閣2015年) 他

教育界には課題が山積しております。ぜひ「教育講演会」に御参加いただき、お一人お一人が抱える課題の解決に努めていただければと考えております。多数の皆様の御参加をお待ちしております。

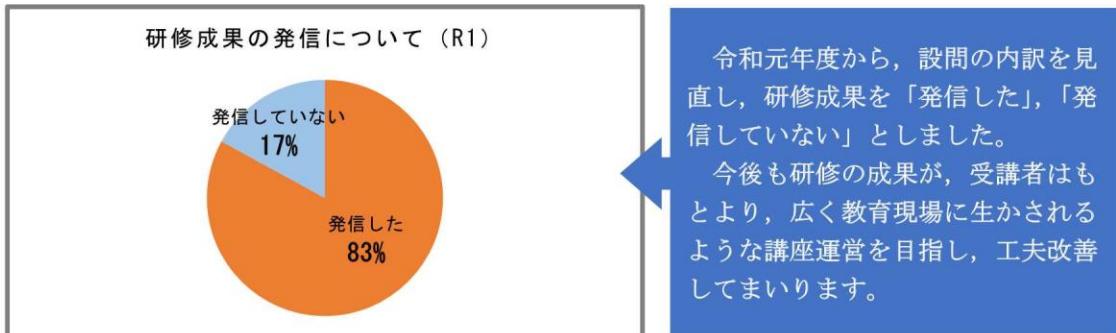
**Web サイトを御利用ください！**  
<http://kami-cen.hs.plala.or.jp/>

今年度の講座一覧や要項・申込書、研究紀要等がダウンロードでき、過去の研修講座の様子やセンターだよりを見ることができます。また、センターで所蔵している資料名を閲覧できますので、お探しの資料があれば貸し出すこともできます。さらに、施設の使用や宿泊についても詳細を見るできます。ぜひ、御活用ください。

## 令和元年度 受講後調査の集計結果 ~御協力ありがとうございました~

当研修センターでは、研修講座の受講後2～3か月をめどに御回答いただく「受講後調査」を実施しました。お忙しい中にもかかわらず御協力をいただきまして、ありがとうございました。昨年度の結果をまとめましたので、お知らせいたします。

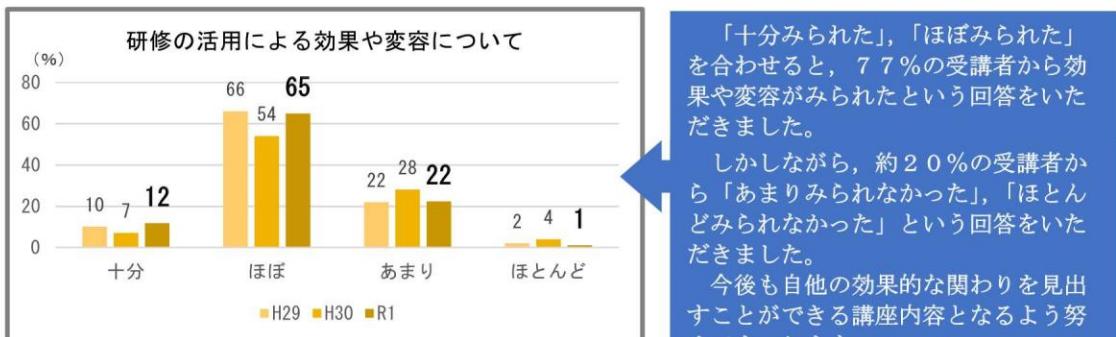
### 設問1 研修終了後、児童生徒や同僚教職員、他の学校の教職員等に研修成果を発信することができましたか。



### 設問2 研修終了後、自校や校外研修会等で、研修内容を活用し、自己の指導内容や方法の工夫改善ができましたか。



### 設問3 研修内容を広げたり活用したりした結果、児童生徒や対象の教職員に効果や変容がみられましたか。



(補足：設問2・3については、記述式の回答欄を廃止しております。)

#### 「受講後調査」QRコード



※この調査は、受講後、約2～3か月をめどに入力してください。  
※左のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると回答できます。

(google フォーム 外部リンク)

### 各種資料の御活用を！

当研修センターの1階には、各種教育雑誌や各出版社の教科書を、3階には、道内はもちろん全国各地の教育関係広報紙や研究紀要、教育雑誌のバックナンバーなどを保管しています。蔵書資料は貸出もし行っていますので、ぜひ御活用ください。なお、所蔵資料リストは当センターWebサイトからも御覧いただけます。



心に残る授業 その⑧



竹中一三  
旭川市教育委員会  
教育指導課主査

「主体的・対話的で深い学び」は、児童生徒に必要な資質・能力を育むための学びの質に着目し、授業改善の取り組みを活性化していくための視点です。

道徳科においては、児童生徒の発達の段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」「議論する道徳」へと転換を図った授業を行なうことが大切です。

私が参観した心に残る授業は、授業展開や手立て、評価等が見事に具現化された小学校第6学年道徳科の授業です。

本授業の導入では、本時で学ぶ道徳的価値についての問題意識を高めるために、事前に行なったアンケートの結果を提示し、方向付けした上で、主題の提示と読み聞かせが行われました。展開前段では、道徳的諸価値の理解

を深めるために、読み物教材の登場人物に自我関与させる発問を通して、登場人物の立たされた状況に共感させ、これまでの自分の体験から感じ、考えたことや登場人物の生き方について話し合わせました。板書に思考ツールを位置付けることで、児童の思考や表現を促すなど、板書を生かす工夫の一つを見せていただきました。

展開後段では、学んだ道徳的諸価値を自分との関わりで考えさせるため、内面化を促す視点を明確にし、ノートに記述させました。

終末では、性急に態度の変化を押し付けることなく、自分なりに納得したり、自分の今後の課題として考えたりしたことなどをノートに記述させるとともに、交流することで実践への意欲化を図りました。

私は、授業者の先生と事前の打ち合わせを二回行いましたが、明確な指導観のもと、発問や指導方法の工夫など、教材活用の工夫点を明らかにした丁寧な授業構想に、大変感銘を受けました。今後も、各学校において、「道徳科の時間が待ち遠しい」「考え、議論することが好き」な児童生徒が増えるよう、学びの質の高い授業が展開されることを期待しております。

## 「出前講座」を御活用ください！

教科等指導をはじめ、生徒指導・特別支援教育・今日的な教育課題・ICT活用・各種実技指導など、各学校の校内研修や教育研究団体の様々なニーズに合わせて、選りすぐりの講師を派遣しています。ぜひ、御活用ください。

申込みは、随時受付けております。「研修講座開催要項」p.31に掲載しております「出前講座申込書」に必要事項を御記入の上、直接当センターへFAXで送付してください。

### 講座内容例

教科等指導（国、算等）	指導計画、評価、言語活動等、校内研修にかかる事項等
ICT実技	タブレットPC活用、ICT活用、メディアリテラシー等
各種実技指導	器械運動（体育）、図工（木版画）、毛筆（書写）等
特別支援教育	各種発達障害の理解、個別の支援計画、交流および共同学習等
生徒指導	構成的グループエンカウンター、教育相談、カウンセリング等
今日的な教育課題	学校力向上、道徳、外国語（英語）、幼保小連携、小中連携等

## 上川教育研修センター所員紹介

新  
任



副  
所  
長  
伊  
東  
義  
晃

学校や教職員の皆様から愛される研修施設となるよう、力を尽くされてしまいたいと思います。よろしくお願ひいたします。



指  
導  
員  
(旭川市立北星中)  
加  
藤  
慎  
司

上川管内の学校や先生方に御活用いただける研究を発信できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



研  
究  
事  
業  
部  
長  
(旭川市立陵雲小)  
工  
藤  
秀  
敏

充実したICT実技研修となるよう、精一杯努力してまいります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。



研  
究  
員  
(旭川市立東明中)  
久  
保  
田  
龍  
平

上川管内の各学校や先生方に対し、少しでもお役に立てるよう尽力してまいります。よろしくお願ひいたします。



研  
究  
員  
(美瑛町立美瑛東小)  
石

事務部長  
花香 純夫



指  
導  
員  
(旭川市立旭川第三小)  
上  
村  
純  
一

研究員(旭川市立永山南小)  
吉野 和氣



指  
導  
員  
(旭川市立高台小)  
森  
走  
平

・前研究事業部長  
・前研究員  
・前指導員  
・前指導員  
・前指導員  
・前指導員  
・前指導員  
・前指導員

所  
員



所  
長  
福  
家  
尚



指  
導  
員  
(旭川市立東光小学校)  
佐  
藤  
徳  
嗣

退  
任

お世話になりました

(旭川市立嵐山中学校)  
(旭川市立永山中学校)

伊 藤 健 治  
(美瑛町立美瑛小学校)  
田 村 仁  
(旭川市立永山中学校)

・前研究員  
・前指導員  
・前指導員  
・前指導員  
・前指導員  
・前指導員  
・前指導員  
・前指導員

責任者 印刷所	発行日 上川教育研修センター	令和二年七月一日 〒〇七〇-〇〇三六 旭川市六条通四丁目 電話(〇二六六)二四一五〇一 福家尚 東信印刷株式会社
------------	-------------------	---

※この用紙は再生紙(古紙70%)を使用しています。